

お客様各位

大建工業株式会社

防耐火認定書類（写）の使用に際してのご注意

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は弊社製品をご採用またはご検討いただき誠に、ありがとうございます。

ご要望の表記資料を使用いただく際に、注意していただきたい事項がございます。下記事項を、ご確認、ご了解の上、ご利用いただくようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 認定書は、防耐火構造上、国土交通大臣に認められた構造仕様の範囲を示すものです。外壁の仕様、断熱材など各資材は、認定書に記載されている仕様を満たすものを選定するようにお願いいたします。（認定範囲外となった場合、防耐火構造の性能上の問題が生じるおそれがあります。）実際の設計、施工においては、認定書と共に弊社および各材料メーカーのカタログ、施工要領書に記載の事項をご確認いただき、それに従ってください。
2. 各防耐火認定ごとに、建物及び下地の構造（軸組/枠組、木製/鋼製 など）、外装仕上げ材の仕様（基材、厚さ、形状等）、工法（通気、直張り、充填断熱、外張り断熱等）、断熱材の仕様、屋内側防火被覆材（内装材）の指定の有無など認定範囲が異なりますので十分ご確認ください。
3. 認定書は、認定書構造をご採用いただいた物件の確認申請、あるいは防耐火構造としての仕様確認のためにご提供するものです。本来の目的以外ではご使用されないよう、お願いいたします。
4. これらの注意点は新築時だけではなく、外壁や断熱の改修時にも配慮が必要となります。ご留意のほどよろしくお願いいたします。

以上

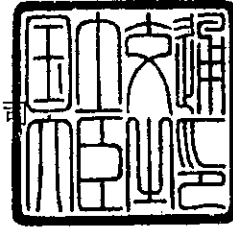
2025/7/2 改訂

認定書

国住指第 1377 号
平成 22 年 9 月 2 日

大建工業株式会社
取締役社長 澤木 良次 様

国土交通大臣 前原 誠司



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号の二及び同法施行令第 107 条の 2 第一号から第三号まで（外壁（耐力壁）：各 45 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QF045BE-0806
2. 認定をした構造方法等の名称
人造鉱物繊維保温材充てん／軽量セメントモルタル塗・木質系ボード・下地材表張／せっこうボード重裏張／木製軸組造外壁(通気仕様)
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

人造鉱物繊維保温材充てん／軽量セメントモルタル塗・木質系ボード・下地材表張／せっこうボード
重裏張／木製軸組造外壁(通気仕様)

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

| 項 目 | 申 請 仕 様 |
|--------|-------------------------|
| 壁の高さ | 構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法 |
| 壁の厚さ | 159.0mm以上 |
| 柱・間柱間隔 | 500mm以下 |

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2示す。

表2 申請仕様の主構成材料

| 項目 | 申請仕様 |
|-----------|---|
| 柱(荷重支持部材) | 材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 断面寸法：105×105mm以上 |
| 間柱 | 材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 断面寸法：27×105mm以上 |
| 外装材 | 材料：(1)及び(2) (1)軽量セメントモルタル 組成：①～③の一 ①普通ポルトランドセメント 45.0～55.0 質量% 無機質混和材 45.0～55.0 質量% 無機質軽量骨材 0.0～24.0 質量% 無機質骨材 0.0～27.0 質量% 無機質混和材 14.0～40.0 質量% 無機質少量添加剤 0.0～ 6.0 質量% 有機質混和材 0.1～ 7.6 質量% 有機質骨材 0.0～ 7.0 質量% 有機質少量添加剤 0.1～ 4.5 質量% 有機質繊維 0.0～ 0.5 質量% ②普通ポルトランドセメント 45.0～55.0 質量% 無機質混和材 44.0～52.5 質量% 無機質軽量骨材 0.0～24.0 質量% 無機質骨材 25.0～45.0 質量% 無機質混和材 0.0～15.0 質量% 無機質少量添加剤 0.0～ 7.5 質量% 有機質混和材 1.0～ 4.5 質量% 有機質骨材 0.5～ 4.5 質量% 有機質少量添加剤 0.1～ 0.5 質量% 有機質繊維 0.0～ 0.5 質量% ③普通ポルトランドセメント 45.0～55.0 質量% 無機質混和材 52.0～53.5 質量% 無機質軽量骨材 37.0～44.0 質量% 無機質骨材 0.0～15.0 質量% 無機質混和材 0.0～12.0 質量% 有機質混和材 1.0～ 2.5 質量% 有機質骨材 1.0～ 2.5 質量% 有機質少量添加剤 0.1～ 0.5 質量% 有機質繊維 0.1～ 0.5 質量% 但し、 無機質軽量骨材：パーライト、凝灰岩系松脂岩、シラス発泡粒 無機質骨材：けい砂、石灰砂、ガラス粒 無機質混和材：炭酸カルシウム、消石灰、高炉スラグ、フライッシュ、粘土鉱物、 ドロマイトプラスター、水酸化アルミニウム 無機質少量添加剤：膨張材(無水石膏、エトリンカト系、石灰系)、ガラス繊維 有機質骨材：EVA 発泡粒、エチレン酢ビ・炭酸発泡粒、ポリスチレン発泡粒、塩化ビニル樹脂 発泡粒、エチレン樹脂発泡粒、ポリエチレン発泡粒、ポリウレタン発泡粒、ポリプロピ レン発泡粒、ゴム粉砕品、パフ粉 有機質少量添加剤：EVA 粉末樹脂、セルロース系増粘剤 有機質繊維：アクリル、ビニロン、ポリプロピレン、ポリエステル、ポリエチレン、ナイロン、炭素、アラミド、 セルロース、パルプ、麻、羊毛 |

つづく

つづき

| | |
|--------------|---|
| 外装材 | <p>塗厚：15mm以上 密度：1.1(±0.1)g/cm³以上 (2)補強材：1)又は2) 1)なし 2)耐アルカリ性グラスファイバーネット 厚さ：0.3mm以上、質量：130g/m²以上 メッシュ間隔：4×4～10×10mm</p> |
| 構造用面材 | <p>材料：①～⑨の一</p> |
| 木質系ボード | <p>①構造用合板(日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ②構造用パネル(日本農林規格に適合するもの) 厚さ：9mm以上 ③パーティクルボード(JIS A 5908) 厚さ：9～40mm ④インシュレーションファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ：9～18mm ⑤ハードファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ：2.5～7mm ⑥シングルフibreボード(JIS A 5905) 厚さ：9～18mm ⑦ディメンションファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ：2.5～30mm ⑧小幅板(幅80mm以上) 厚さ：9mm以上 ⑨高強度インシュレーションボード(日本繊維板工業会規格) 組成(質量%)： パルプ 80(±4) 有機系バインダー及びワックス系耐水剤 20(±4) 曲げ強さ：7.0N/mm²以上 厚さ：9mm以上</p> |
| 断熱材 | <p>材料：人造鉱物繊維保温材；①又は② ①グラスウール(JIS A 9504、JIS A 9521) 厚さ：50mm以上、密度：10kg/m³以上 ②ロックウール(JIS A 9504、JIS A 9521) 厚さ：50mm以上、密度：20kg/m³以上</p> |
| 内装材 | <p>材料：①又は② ①せっこうボード(JIS A 6901) ②強化せっこうボード(JIS A 6901) 厚さの組み合わせ：1)～4)の一 1)上張①12.5mm～25mm+下張① 9.5mm～15mmの重張 2)上張① 9.5mm～15mm+下張①12.5mm～25mmの重張 3)上張②12.5mm～25mm+下張① 9.5mm～15mmの重張 4)上張① 9.5mm～15mm+下張②12.5mm～25mmの重張</p> |
| 下地材 | <p>材料：①～⑬の一</p> |
| あり (通気仕様) | <p>①構造用合板(日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ②構造用パネル(日本農林規格に適合するもの) 厚さ：9mm以上 ③パーティクルボード(JIS A 5908) 厚さ：9～40mm ④インシュレーションファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ：9～18mm ⑤ハードファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ：2.5～7mm ⑥シングルフibreボード(JIS A 5905) 厚さ：9～18mm ⑦ディメンションファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ：2.5～30mm ⑧小幅板(幅80mm以上) 厚さ：9mm以上 ⑨硬質木片セメント板(JIS A 5404)：厚さ12～25mm ⑩パルプセメント板(JIS A 5414)：厚さ6mm又は8mm ⑪けい酸カルシウム板(JIS A 5430)：厚さ5～20mm ⑫パルプ・けい酸カルシウム混入セメント板 (国土交通大臣認定準不燃材料QM-0592)：厚さ9mm以上 ⑬火山性ガラス質複層板(JIS A 5440)：厚さ6～25mm</p> |

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

| 項目 | 申請仕様 |
|-------------------------------------|--|
| 胴縁 | 材料：日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材又は下地用集成材(通気仕様) 断面寸法：12×38mm以上、取付間隔：500mm以下 |
| 補助胴縁 (胴縁及び構造 用面材を用い る場合) | 材料：①又は② ①なし ②(1)又は(2) (1)日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 (2)塩化ビニル樹脂 断面寸法：12×10mm以上、取付間隔：500mm以下 |
| ころび止め | 材料：日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材又は下地用集成材 断面寸法：30×40mm以上 |
| 鉄網 | 材料：メタルラス防錆処理品 単位面積質量：500g/m ² 以上 |
| 防水材 | 材料：①又は② ①アスファルトフェルト 単位面積質量：860g/m ² 以下 厚さ：1.2mm以下 ②透湿防水シート(JIS A 6111) 材質：1)、2)又は3) 1)ポリエチレン 2)ポリエステル 3)ポリプロピレン 単位面積質量：150g/m ² 以下 厚さ：0.6mm以下 |
| 透湿防水シート (通気仕様で胴 縁の下に張る もの) | 材料：透湿防水シート(JIS A 6111) 材質：1)、2)又は3) 1)ポリエチレン 2)ポリエステル 3)ポリプロピレン 単位面積質量：150g/m ² 以下 厚さ：0.6mm以下 |
| 内装材用目地 処理材 | 材料：せっこうボード用目地処理材 (兼用ジョイントコンパウンド、JIS A 6914) 塗布量：100g/m以上 |
| 留付材 | 構造用面材固定用： 材料：①～④のー ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N38以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN40以上 ③シーリングインシュレーションファイバーボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：SN40以上 ④タッピンねじ 材質：1)又は2) 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法：胴部径φ2.5×長さ25mm以上 留付間隔：周辺部200mm以下、中央部200mm以下 |

つづく

つづき

| | |
|-----|---|
| 留付材 | 下地材固定用： 材料：①～④の一 ①鉄丸くぎ (JIS A 5508) 寸法：N38以上 ②太め鉄丸くぎ (JIS A 5508) 寸法：CN40以上 ③シーソング インシュレーションファイバーボード用くぎ (JIS A 5508) 寸法：SN40以上 ④タッピンねじ 材質：1) 又は2) 1) 冷間圧造用炭素鋼 (JIS G 3507-2) 2) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 寸法：胴部径 $\phi 2.5$ × 長さ25mm以上 留付間隔：周辺部200mm以下、中央部200mm以下 |
| | 胴縁固定用： 材料：①、②又は③ ①鉄丸くぎ (JIS A 5508) 寸法：N38以上 ②太め鉄丸くぎ (JIS A 5508) 寸法：CN40以上 ③タッピンねじ 材質：1) 又は2) 1) 冷間圧造用炭素鋼 (JIS G 3507-2) 2) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 寸法：胴部径 $\phi 2.5$ × 長さ25mm以上 留付間隔：500mm以下 |
| | 内装材固定用： 下張固定用： 材料：①、②又は③ ①せっこうボード用くぎ (JIS A 5508) 寸法：GN40以上 ②十字穴付木ねじ (JIS B 1112) 寸法：呼び径 $\phi 3.1$ × 長さ25mm以上 ③タッピンねじ 材質：1) 又は2) 1) 冷間圧造用炭素鋼 (JIS G 3507-2) 2) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 寸法：胴部径 $\phi 2.5$ × 長さ25mm以上 留付間隔：周辺部200mm以下、中央部200mm以下 上張固定用： 材料：①、②又は③ ①せっこうボード用くぎ (JIS A 5508) 寸法：GN50以上 ②十字穴付木ねじ (JIS B 1112) 寸法：呼び径 $\phi 3.1$ × 長さ30mm以上 ③タッピンねじ 材質：1) 又は2) 1) 冷間圧造用炭素鋼 (JIS G 3507-2) 2) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 寸法：胴部径 $\phi 2.5$ × 長さ30mm以上 留付間隔：周辺部150mm以下、中央部200mm以下 |

つづく

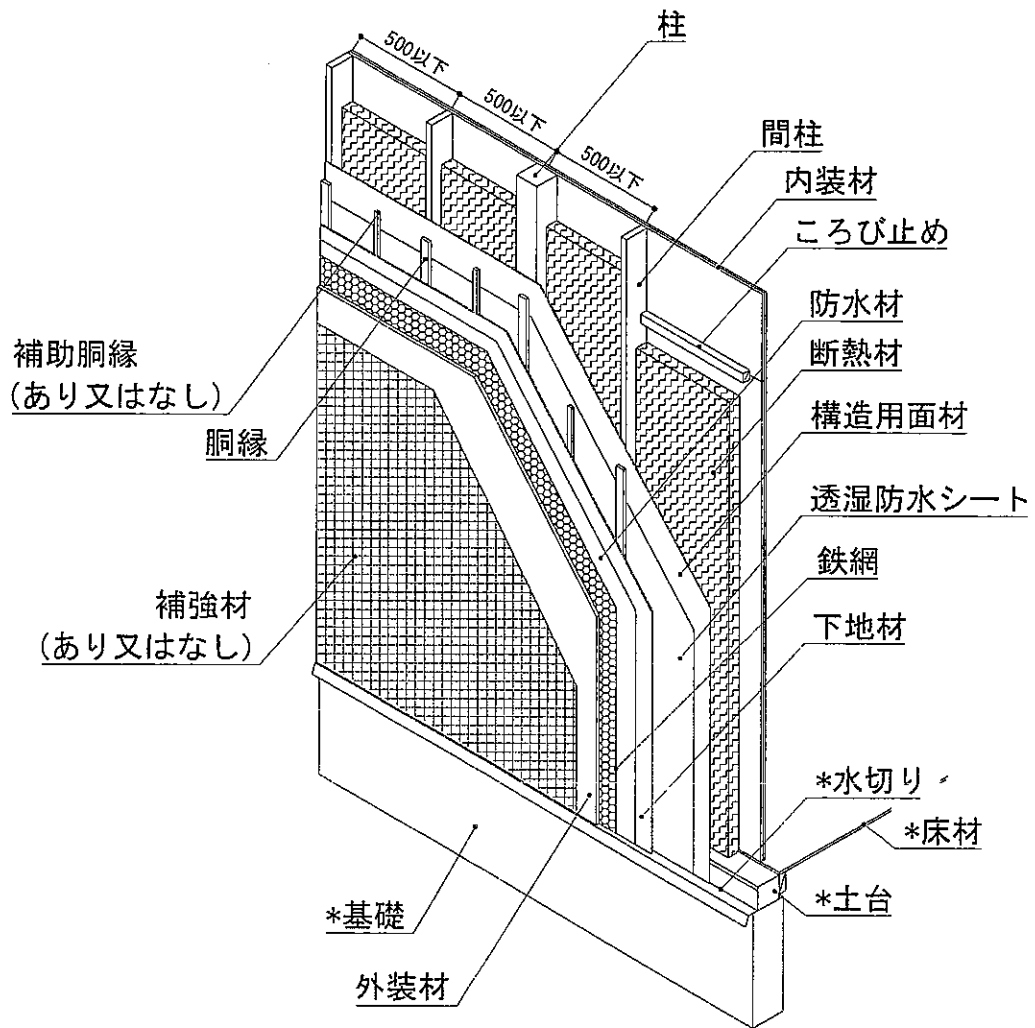
つづき

| | |
|-----|--|
| 留付材 | 鉄網固定用： 材料：工業用ステープル(JIS A 5556) 材質：①又は② ①ステンレス鋼線(JIS G 4309) ②鉄線(JIS G 3532) 寸法：内幅7mm以上、足の長さ16mm以上 留付間隔：縦150mm以下、横500mm以下 |
| | 防水材固定用： 材料：工業用ステープル(JIS A 5556) 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：内幅7mm以上、足の長さ10mm以上 留付間隔：500mm以下 |
| | 透湿防水シート固定用： 材料：工業用ステープル(JIS A 5556) 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：内幅7mm以上、足の長さ10mm以上 留付間隔：500mm以下 |

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

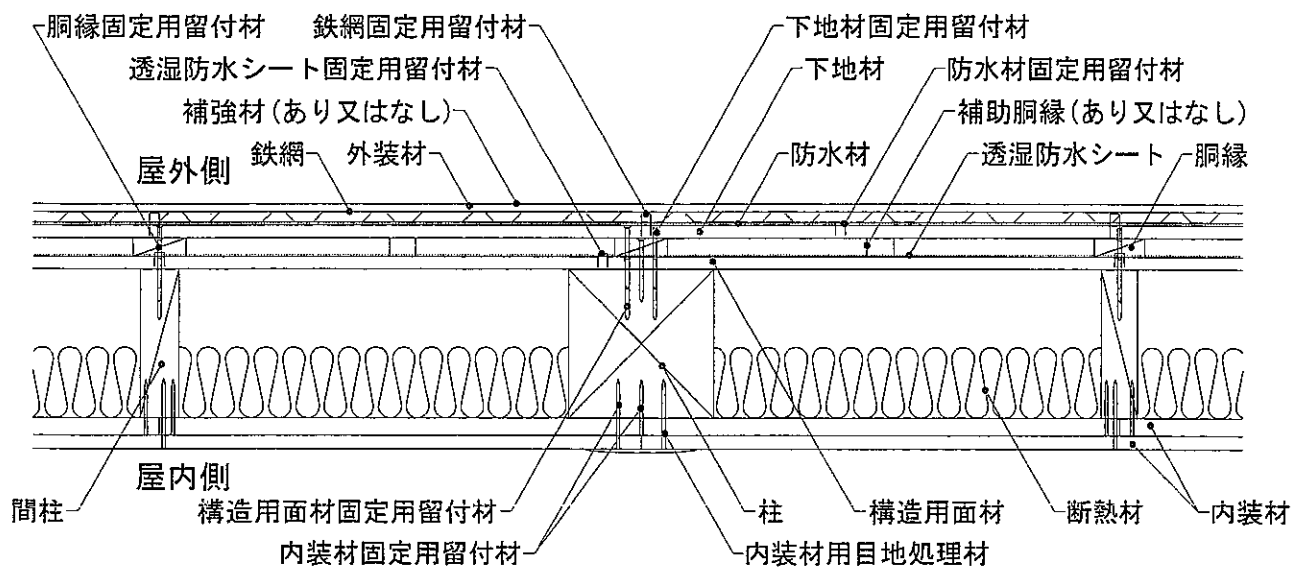
単位 mm



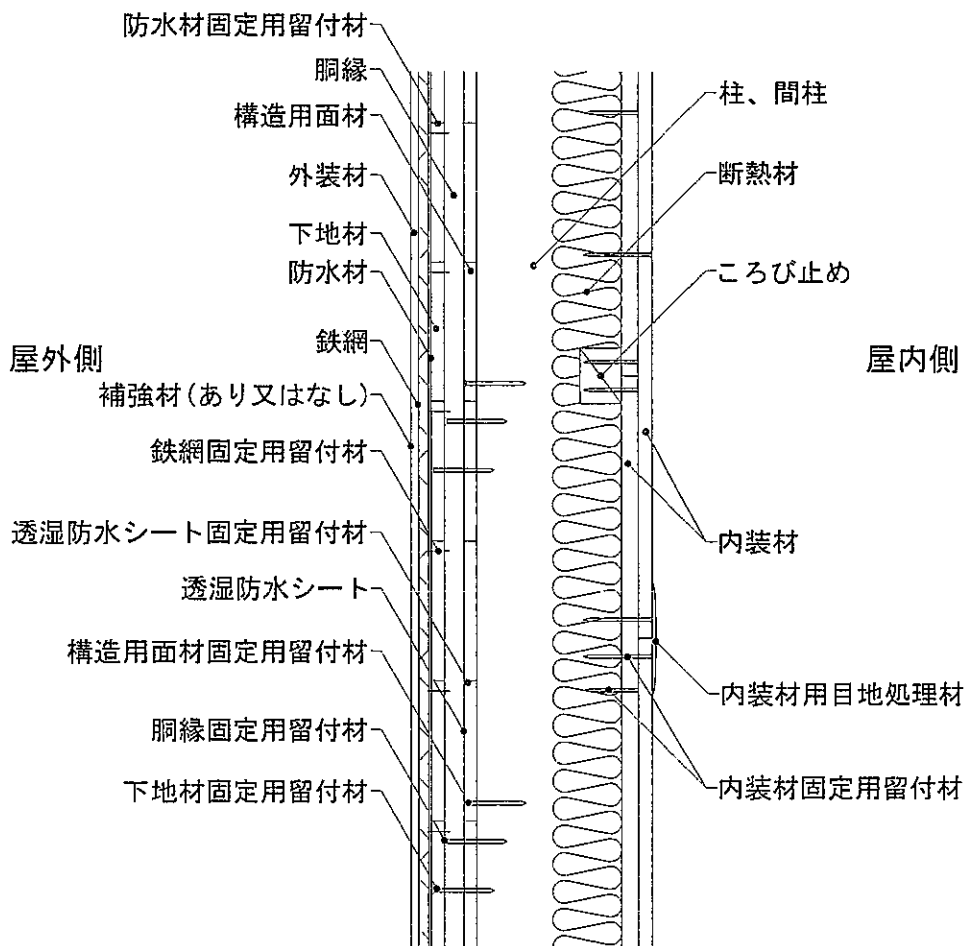
透視図(通気仕様)

* 評価対象外

図1 構造説明図



水平断面部詳細図(通気仕様)



鉛直断面部詳細図(通気仕様)

図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図3に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 下地の組立て

柱及び間柱は反り曲がりのないものを使用し、土台の上部に垂直に500mm以下の間隔で取付ける。

(2) 構造用面材の取付け

構造用面材を、構造用面材固定用留付材を用いて、柱及び間柱の表面に取付ける。又、横目地がある場合は、ころび止めを設け、ころび止めの表面に取付ける。

(3) 透湿防水シートの張付け

透湿防水シートを、重ね代を縦、横共に100mm以上とり、透湿防水シート固定用留付材を用いて、構造用面材の表面に、たるみ、しわのないように張付ける。

(4) 胴縁及び補助胴縁の取付け(補助胴縁を取付ける場合)

胴縁は、透湿防水シートの表面に胴縁固定用留付材を用いて取付ける。又、必要に応じて補助胴縁を両面テープ、接着剤又は胴縁固定用留付材を用いて取付ける。

(5) 下地材の取付け

下地材を、下地材固定用留付材を用いて胴縁及び補助胴縁の表面に取付ける

(6) 防水材の張付け

防水材は、重ね代を縦、横共に50mm以上とり、防水材固定用留付材を用いて、下地材の表面に、たるみ、しわのないように張付ける。

(7) 鉄網の取付け

鉄網は、横張又は縦張とし、千鳥に配置する。網目は縦横とも30mm以上重ね、鉄網の浮き上がり、たるみのないように鉄網固定用留付材を用いて取付ける。

(8) 外装材の施工(軽量セメントモルタルの塗付け及び耐アルカリ性グラスファイバーネットの伏込み)

① 混練

軽量セメントモルタルと包装材に表示してある標準加水量をモルタルミキサーで混練する。

② 下塗り

こて圧を充分にかけ塗付け、下塗りをする。

③ 上塗り

下塗り後、1～2日間養生期間をとり、下塗りと合わせて15mm以上となるように上塗りを行う。上塗りは、こて圧を充分にかけ、下塗りと良く密着させる。上塗りの水引き具合を見てムラ直しを行なう。

④ 耐アルカリ性グラスファイバーネットの伏込み(補強材を使用する場合)

下塗り又は上塗り後、直ちに耐アルカリ性グラスファイバーネットを張り、こてで押さえ軽量セメントモルタルと馴染ませる。

⑤ 養生期間

軽量セメントモルタルの上塗り後、養生期間は10日以上(冬期14日以上)とする。

(9) 断熱材の充てん

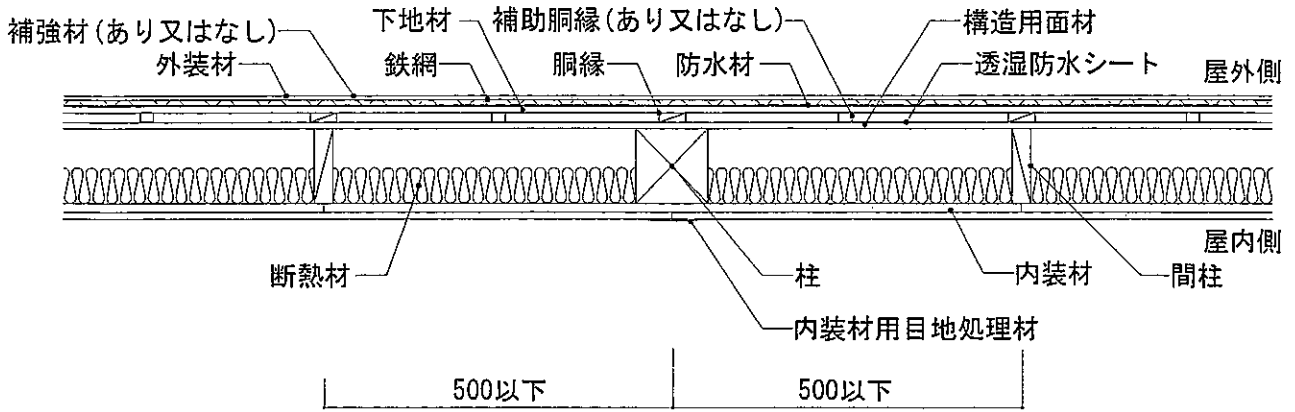
内装材を取付ける前に、断熱材を柱及び間柱の間に充てんする。

(10) 内装材の取付け

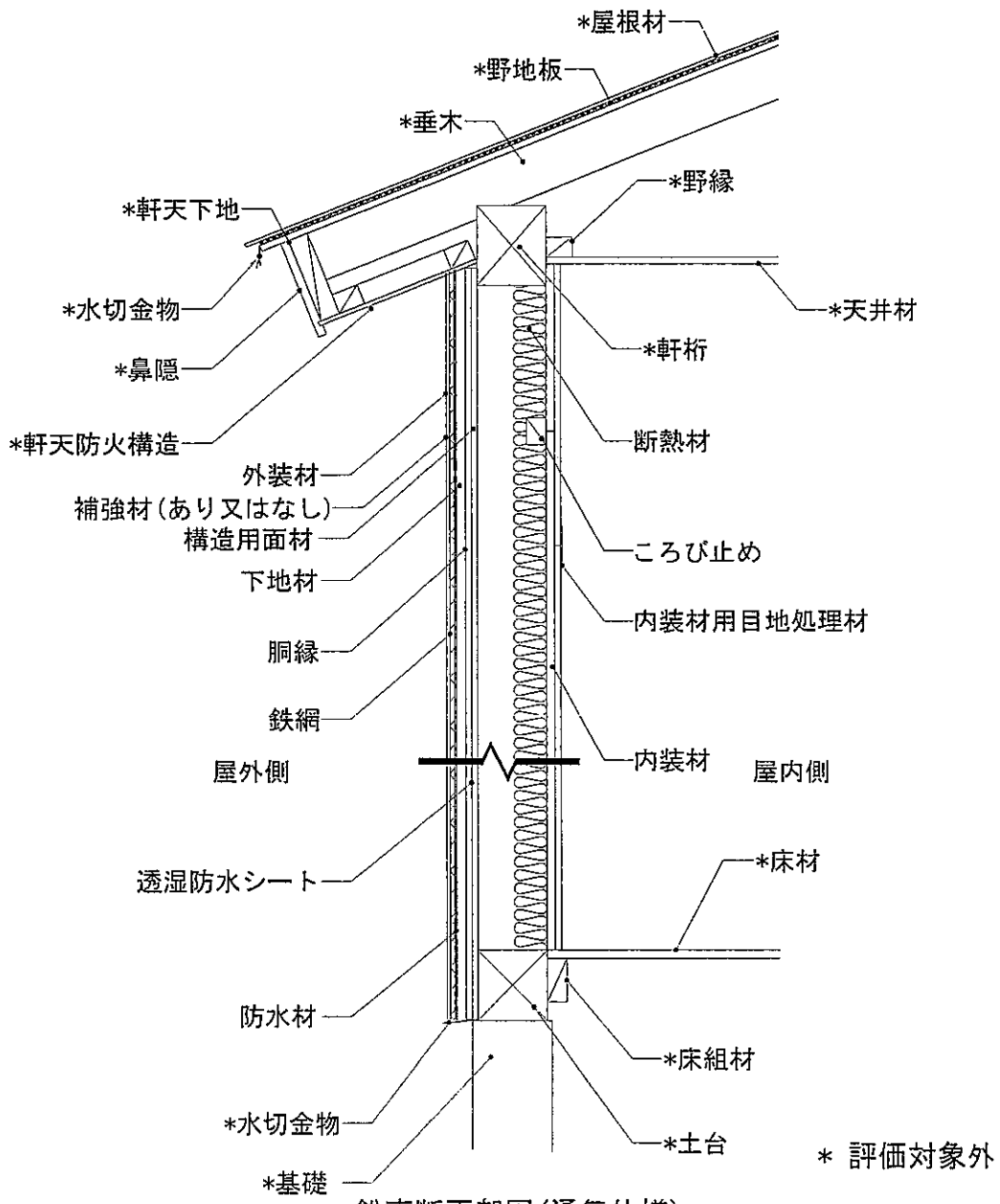
① 内装材は内装材固定用留付材を用いて柱、間柱及びころび止めの表面に留付ける。

② 目地部には、内装材用目地処理材を施す。

単位 mm



水平断面部図(通気仕様)



鉛直断面部図(通気仕様)

図3 施工図